

N700Sの予備灯扱いは完全責任施工に！！

仕業・申告班の社員に責任を負わせないように！！

2021年4月1日より、整備清掃会社（サービック）による「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」が説明会も行われないうまま、技術連絡一枚が実施の二日前でただで一方的に実施されました。

その技術連絡「技術連絡R2-313 仕業検査手順書の改訂について」も、「(3)「整備清掃会社による「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」開始」と表題に書いているだけで、整備清掃会社（サービック）が何故「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」を行うのか、具体的な内容は一切書かれていませんでした。

そこで、管理者に聞いてみると「そもそも、N700Sは最初から整備清掃会社（サービック）が扱うように作られていたが、運用が遅れていた」という回答でした。

しかし、本当にそれだけの理由でわざわざ新たにスイッチが作られたのでしょうか？
しかもこのスイッチを扱うと作業に必要な放送が使えないことが明らかになりました。
整備清掃会社（サービック）の社員からも不満や不安の声が上がっています。

またしても「真実は言わない」という会社の姿勢が明らかになりました！

今後、整備清掃会社（サービック）が「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」を行う作業には、様々な問題が発生することが考えられます。

私達は労働組合として、整備清掃会社（サービック）が行う「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」の作業については、整備清掃会社（サービック）の完全な責任施工で行わなければならないと考えると同時に、問題が発生した際には、仕業・申告班の社員には一切責任がない事ではなければならないと考えます。

また、会社は日頃「ヒューマンエラー防止」と口うるさく言っています。
今回のような整備清掃会社（サービック）が「予備灯SW扱い【N700S系のみ】」を行う作業にもヒューマンエラー対策をサービック会社に押し付けるだけでなく、JR会社も万全な対策を講じるべきです。

仕業・申告班で働く私達社員の多くは、問題が発生した際に、社員に責任を押し付ける会社の姿勢に問題があると考えています！